



平成 23 年 6 月 29 日

各 位

会 社 名：株式会 fonfun

代表者名：代 表 取 締 役 社 長 林 和 之
(JASDAQ コード番号：2323)

問合せ先：取締役執行役員経営管理部部長 八 田 修 三
(TEL：03-5357-0303)

財務報告に係る内部統制の重要な欠陥に関するお知らせ

当社は、平成 23 年 6 月 28 日付に金融商品取引法第 24 条の 4 の 4 第 1 項に基づき平成 23 年 3 月期における内部統制報告書を提出いたしました。本報告書において平成 23 年 3 月期の財務報告に係る内部統制に重要な欠陥がある旨を記載しておりますので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 重要な欠陥の内容

第 15 期（平成 23 年 3 月期）有価証券報告書「第 5 経理の状況 1（1）連結財務諸表 追加情報」において記載しているとおり、当社において、不適切な会計処理が過去数年にわたり行われていたことが判明致しました。

当社の過年度の不適切な会計処理に対して、それがどのような経緯で発生したかについて、第三者の立場で厳正かつ徹底した事実関係及び原因究明の調査を進めるために、第三者の有識者から構成される第三者調査委員会の設置を平成 22 年 12 月 8 日の取締役会において決議し、調査を実施致しました。当該調査により、当社及び連結子会社において平成 21 年 3 月期から平成 23 年 3 月期第 2 四半期までの間、取引実体のない架空資産の計上や費用計上等不適切な会計処理が行われていることが具体的かつ詳細に判明致しました。なお、第三者調査委員会の調査結果の概要は、平成 23 年 3 月 1 日に当社ホームページにて公表されております。

当社はこれを受けて、第 13 期（平成 21 年 3 月期）以降の連結財務諸表等を遡及処理することと致しました。不適切な会計処理の概要は、当社代表取締役が複数回にわけ会社資金を不正に流出させ、実体の無い資産を計上していたことなどであります。

これは、代表取締役個人に対する強い依存体質があり取締役会や監査役会による監督機能が十分でなかったこと等が大きな原因であったと判断しております。

したがって、当社の全社的な内部統制、全社的な観点で評価する決算・財務報告プロセスに関する内部統制に重要な欠陥があったため、不適切な会計処理が行われ、かつその発見に遅れを生じさせたものと認識しています。

当事業年度の末日までに是正されなかった理由は、当該不適切な会計処理の件に全取締役が関与していたため、第三者調査委員会の助言により全取締役が出社停止したことにより、取締役会の開催ができなくなったためであります。

2. 重要な欠陥の是正について

当社は、財務報告に係る内部統制の整備及び運用の重要性を十分に認識しており、重要な欠陥を是正するために、内部統制報告書提出日までに下記のとおり是正措置を実施致しました。

- ① 取締役会、監査役会の刷新
全取締役・全監査役の辞任
- ② 経営監視体制の強化
社外有識者による経営監視機関の設置
- ③ 適切な社外役員の人選
社外有識者及び監査役会（当時）の助言を基に人選

また、下記のとおり再発防止策を講じ、適切な内部統制を整備・運用してまいります。

- ① 取締役会の機能の実効化
- ② 監査役による監査の充実
- ③ 監査役と会計監査人及び内部監査室との連帯
- ④ 法令遵守意識の向上
- ⑤ 内部監査の充実
- ⑥ 実効的な内部通報制度の設置及び周知徹底
- ⑦ 職務権限の見直し

以上